

CentOS/LinuxからIPV6を無効にする方法

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[設定](#)

[設定](#)

[確認](#)

概要

このドキュメントでは、Linux Operator SystemからIPV6を無効にする方法について説明します。

著者 : Cisco TACエンジニア、Gustavo Bell

前提条件

要件

- ルートユーザとしてシステムにアクセスします。
- ・ OS(Operation System)

設定

設定

ステップ1 : ルートとしてOSに接続する

ステップ2 : システムにIPV6 ipがあるかどうかを確認します。

```
ip add | grep inet6
```

可能な出力

```
inet6 ::1/128 scope host
inet6 fe80::18e2:36ec:dd69:6c3f/64 scope link
```

ステップ3 : ファイル/etc/sysctl.confを変更し、次の行を追加します/

```
echo "net.ipv6.conf.eth0.disable_ipv6 = 1" >> /etc/sysctl.conf
echo "net.ipv6.conf.default.disable_ipv6 = 1" >> /etc/sysctl.conf
echo "net.ipv6.conf.all.disable_ipv6 = 1" >> /etc/sysctl.conf
echo "net.ipv6.conf.lo.disable_ipv6 = 1" >> /etc/sysctl.conf
```

ステップ4 : システムをリブートする

```
systemctl reboot
```

確認

ステップ1:PV6が実行されているかどうかを確認します。出力は空である必要があります

```
ip add | grep inet6
```